

平成29年度

事業計画書

平成29年3月

公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

平成29年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行います。

(1) 学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的：奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与する。

平成29年度計画

①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に親権者預金口座に振込む。

下記学年は新学年

1年生については、第一次合格者数にて記載

対象者	人員	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学生	4年生 (25名)	月額30,000円×12か月＝360,000円	9,000,000円
	3年生 (20名)	月額30,000円×12か月＝360,000円	7,200,000円
	2年生 (23名)	月額30,000円×12か月＝360,000円	8,280,000円
	1年生 (17名)	月額30,000円×12か月＝360,000円	6,120,000円
	合計 85名		30,600,000円

②奨学金の返還

- ・平成29年3月卒業生を対象に、奨学金借用証書及び返還予定書を提出指示。
- ・平成28年度以前の卒業生を対象に、奨学金の返還指示及び諸通信の連絡。
- ・平成29年度返還額予定額（返還予定書より算出） 15,358,000円

③第42回（平成30年4月進学）奨学生募集活動計画

- ・奨学生対象エリアの拡大～従来の新潟県、山形県に長野県、福島県を追加する。

・募集人員：大学生25名

・募集要項の発送 10月上旬

募集要項の発送の前に、対象県の教育庁高等学校教育課を訪問し、当財団の奨学金制度についての各高等学校への周知をお願いする。

・対象校：高等学校395校 新潟県109校 山形県71校
長野県108校 福島県107校

・募集締切：平成29年12月下旬

・第1次選考委員会：平成30年1月下旬

・2月上旬に選考結果を通知し、1次合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定する。

(2) 文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的：平成25年9月に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学の素晴らしさを再発見する場を提供する。

本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りです。

【ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営】

目的：キーン先生の今日までの歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学、日本文化の面白さ、素晴らしさを発見、認識してもらう。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書斎を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場とする。

年間251日を開館し、3,000人の来館を計画。

(平成28年度実績予測2,700人～前年伸張率 111%)

●平成29年度計画

【来館者の満足度向上と当センター展示内容の周知活動】

- ①展示解説の来館者満足度向上～毎月、学芸員による展示解説の実施。
- ②毎月一回の展示関連イベント（ミニ講演会等）の開催。
- ③図書館運営指定管理者団体との連携による巡回展の軌道化。

【企画展の計画】

目的：常設展示だけでは、伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とする。平成29年度は、春の開館時より、12月25日まで年間2回の企画展を開催する計画です。1回目と2回目を夏休み期間中に切り替えることで、夏休み期間中に2つの企画展を見学できるようにします。

●平成29年度企画展

①『ドナルド・キーンに宿った「センセイ」恩師、角田柳作の志』展

1930年代に日本文化への理解を求めて The Japanese Culture Centre を創立し、コロンビア大学で「日本学」の礎を築いた角田柳作（つのだりゅうさく）。その教えを受けたドナルド・キーンは今もなお、日本文化・日本文学を世界に広め続けています。恩師、角田柳作とドナルド・キーンの絆と業績を紹介する企画展です。

主催：公益財団法人ブルボン吉田記念財団

共催：群馬県立土屋文明記念文学館

(平成27年3月16日(月)平成26年度第3回理事会にて承認)

期間：平成29年3月10日(金)～同年8月6日(日)

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

この企画展には、下記の法人、団体、個人の方からのご後援、ご協力をいただき、開催いたします。

後 援	新潟県、新潟県教育委員会、柏崎市、柏崎市教育委員会、東京都北区、東京都北区教育委員会、東京都北区立中央図書館、新潟日報社、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、柏崎日報社、柏新時報社、柏崎コミュニティ放送
協 力	群馬県立文書館、群馬大学総合情報メディアセンター図書館、国立公文書館アジア歴史資料センター、国立国会図書館、コロンビア大学C.V.スター東亜図書館、島内景二、東京大学総合図書館、宮澤正明写真事務所、早稲田大学図書館、株式会社ブルボン

② (仮)「ドナルド・キーン 我が心の旅～ロンドン篇」展

平成29年6月、ドナルド・キーン・センター柏崎の設立の原点となった古浄瑠璃「越後國柏崎 弘知法印御伝記」が1962年に大英博物館図書館で発見されて以来、55年ぶりに里帰り公演が行われます。(会場：大英図書館) この公演により、多くのロンドン市民に、人形浄瑠璃が世界的な芸術性を秘めた日本の伝統芸術であることを知って頂くことでしょう。その公演にあわせ、キーン先生は、日本語を教えながら、日本文学の研究を続け、近松門左衛門の『国性爺合戦』にて博士号を取得したケンブリッジ大学を訪問します。この企画展では、古浄瑠璃のロンドン公演に秘められた人々の思いや人形浄瑠璃の世界、5年間に及ぶキーン先生のケンブリッジ大学時代の忘れえぬ人々やエピソードを写真や映像で紹介する予定です。

(平成28年11月14日(月)平成28年度第2回理事会にて承認)

期間(予定)：平成29年8月10日(木)～同年12月25日(月)

会場(予定)：ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

●出張展示企画展(巡回展)

他の記念館、図書館、官公庁や企業、学校等の施設にてドナルド・キーン・センター柏崎の所蔵品や過去の特別企画展にて製作した展示パネル等を一定期間貸与し、展示していただくことで、当センターの知名度向上とドナルド・キーン先生が世界に発信し続ける日本文化、日本文学への造詣を深めていただくことを目的に開催する。

ただし、当センターへのメリット(集客増、資料の無償提供・借受け等)を明確にしていく課題の解決が必要。～当面の間、関係図書館の職員と実行委員会を組織し、活動を行う。

平成29年度計画～平成28年後期に開催した「ドナルド・キーン 石川啄木の日記を読み解く」展を啄木ゆかりの図書館(5館)にて巡回。

①東京都文京区立小石川図書館 平成29年4月5日～5月7日(開催決定)

②北海道函館市中央図書館

③岩手県盛岡市岩手県立図書館

【講演会の計画】

目的：「ドナルド・キーン・センター柏崎」から発信される日本文化や日本文学の素晴らしさ、おもしろさをより具体的に公衆の皆様にお伝えし、理解していただき、教養として身

につけていただくことを目的として開催する。また、企画展の展示内容の深掘りし、企画展の展示の理解度を高めることをも目的とする。

●平成29年度開館記念講演会

①柏崎市名誉市民ドナルド・キーン先生を迎えて

「ドナルド・キーン・センター柏崎」開館4周年講演・公演会

センターの開館4周年を記念して、地元柏崎を中心に協賛社を募り、柏崎市・柏崎市教育委員会・(公財)かしわざき振興財団との共催で、9月24日(日)に開催を予定。

今年度は、ドナルド・キーン・センター柏崎の設立の原点となった古浄瑠璃「弘知法印御伝記」の公演とキーン先生の講話をお楽しみ頂く予定です。

また、キーン先生の「東北を忘れない」というお気持ちを受けて、例年通り、講演会の入場料等の収益の中から、東日本大震災の被災地にキーン先生推薦図書5冊～10冊程度を双葉町・楢葉町・大熊町・富岡町の4町に寄贈します。

会場：柏崎市産業文化会館

入場料：大人 1,000円(予定)(公益目的事業収益)

工程	29年	5月	実行委員会立ち上げ 予算案の作成
		6月	講演会内容(案)の作成→キーン先生へご提案、決定 講演会企画書による協賛社募集
		7月上旬	チラシ、ポスターの制作・配布
		7月下旬	講演会開催告知開始
		8月中旬	広告掲載
		9月24日	開催

【センター主催：ミニ講演会・定期セミナー計画】

目的：常設展示や企画展の展示内容の深掘りやドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や造詣が深いオペラ等に関するセミナーを定期的で開催し、市民の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の永続性を高める。

●平成29年度計画

①企画展関連「講演会」

企画展のテーマに関連した講師をお招きして開催。29年度は、7回開催の予定。

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホールその他、新潟産業大学、市内の小規模ホールを使用

定員：50名～350名

受講料：無料～500円(公益目的事業収益)

今年度前期は、企画展『ドナルド・キーンに宿った「センセイ」恩師、角田柳作の志』展テーマやキーン先生の研究テーマに関する関連講演会を計画。

3月10日：『ドナルド・キーンの恩師、角田柳作「センセイ」の青春』

講師：島内景二 電気通信大学教授

会場：新潟産業大学

受講料：無料

その後、4月、5月、7月、8月、11月、12月に開催の予定。

②「オペラ講座」

柏崎文化協会のご協力を得て、キーン先生やキーン先生のご友人から寄贈されたオペラのレコードを取り上げ、開催。

6月、10月に開催予定。場所は、ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

【教育普及活動】

①小中高校生向けの授業の一環としての「勉強会」の開催

ドナルド・キーン先生の「人となり」について、小学校（国語、道徳）、中学校・高校（英語）の教科書に取り上げられていることをきっかけとして、各学校に対し、案内チラシを配布し、来館につなげる。（勧誘する地域は、今年度は、柏崎市、長岡市、上越市とする）勉強会は事前申し込み制として、学芸員が説明にあたる。なお、見学料は無料とする。

②学芸員による展示解説会の開催

昨年まで、実施していたボランティア向け勉強会を一般の方向けに開催。毎月一回開催の予定。HP日程にて公表し、集客増にも結び付ける。

【研究活動計画】

- ①展示資料及び収蔵資料のデータ化の完成とHP上での情報公開をすすめる。
- ②展示資料及び収蔵資料についてのキーン先生とのつながり（縁）の調査をすすめる。
- ③キーン先生の過去の講演録及び映像の一覧化をすすめる。
- ④キーン先生の最近のお姿の映像化をすすめる。
- ⑤財団報の作成準備。

【PR活動計画】

- ①柏崎市内の商店及び事業者への企画展ポスター、チラシの配布と掲示活動。
柏崎市内での周知向上を図る目的で、ボランティアの皆様の協力を得て実施する。
- ②旅行会社にむけて、パンフレットを発送。旅行社との連携により、柏崎や新潟県内の「食」や他、観光スポットを巡る観光企画の誘導（柏崎市観光交流課、柏崎観光協会の協力も必要）を検討する。
- ③柏崎市の観光タクシー「ちょっ得タクシー」への協力（3月10日～12月25日）
- ④柏崎コミュニティ放送「柏崎発！ドナルド・キーンの世界」や広報かしわざき「コレクション紹介」の継続により、地元での当センターの周知とキーン先生の理解度を深める。
- ⑤広告掲載（投入）
 - ・ラジオ広告 BSN 新潟放送 期間 平成28年3月10日～11月25日
全県20秒×63本
 - ・新聞広告 東京新聞 平成29年8月予定
新潟日報 平成29年4月、8月、11月 平成30年3月

柏崎日報 平成29年4月、8月、11月 平成30年3月
読売新聞、朝日新聞について、県内広告代理店枠を利用した掲載を随時
検討する。

- ・その他、観光・旅行雑誌への掲載を随時検討する。

【地域連携への強化活動】

目的：ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様
様に有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献する。

●平成29年度計画

- ①古典を読む会公開講座開催への協力
- ②柏崎市内で開催される「オペラ講演」及び「文化事業」への「後援」又は「協力」の名義貸し。

【ボランティア組織の活動への協力】

ドナルド・キーン・センター柏崎の日々の運営に協力していただいているボランティア組
織のイベント活動への協力及びボランティアの皆様の協力を得ることで当センターの周
知と集客につなげる。

(主な協力内容) 場所の提供、HP等での告知、イベント参加者の展示見学希望者への団
体割引適用

(計画されているイベント等)

お茶会 (春・秋)

ロビー展示会 (年6回計画)

生花等各種講座

(協力依頼内容) 展示案内、ポスター配布等イベント広報活動、各種イベントの計画実行
センター主催イベントの実行委員参加、他

【褒賞事業への取り組み】

日本文学・日本文化を世界に発信するべく優れた翻訳・評伝作品に対する褒賞。

本年度の事業においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、以下の活動を
開始する予定です。

●平成29年度計画

- ・褒賞事業内容案及び事業実施の為の組織案作成
- ・パートナー企業の検討
- ・褒賞事業案・選考委員案の作成提案
- ・理事会への進行状況の報告

(3) 文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的：教育及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上及び心身の健全な発展に寄与する。

① 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的：文化芸能・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献する。

●平成29年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、実施いたします。

- ・ 予算 文化芸能振興助成事業 100千円 体育等振興助成事業 100千円
- ・ 対象 各事業とも1件ずつとする。
- ・ HPにて公募
- ・ 理事会選考・承認
- ・ 該当団体に助成金の給付

②外国人留学生への研究助成事業

目的：次世代を担う外国人日本文学及び日本文化研究者の育成に貢献する。

●平成29年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、以下の活動を開始いたします。

- ・ 研究助成のプログラム内容の作成
- ・ 優秀な外国人留学生の選考及び受入れ先となる団体の選定
(候補：東京日本語学校、国際交流基金等)
- ・ 理事会への進行状況の報告

(4) 公益目的事業に関連する物品販売（収益事業）

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用商品として製作したオリジナルグッズやキーン先生関連の著作本や翻訳本をセンター内にて販売します。

販売商品

当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売

当センターの専用ロゴ（キーン先生直筆）を印刷した商品の販売

キーン先生及び関連の著作本・翻訳本の販売

目標値

購入者目標人数 600人

(3,000人×20%：28年度の購入者比率実績より)

事業収入目標額 1,200,000円

(600人×2,000円：28年度の1人当購入金額実績より)

(5) 管理部門の計画

- ① 事務局内人材（学芸員）及び施設管理者の育成。
- ② 新理事、新監事、新評議員の候補者の人選。
- ③ 事業検討委員会による「ドナルド・キーン・センター柏崎」の中長期にわたる運営計画の策定。
- ④ 安定した財団運営のための事業資金の調達と資産の整備。
- ⑤ 地元主導、地元への貢献体制の確立。
- ⑥ その他

上記の事業等を実施するにあたり、「平成29年度収支予算」は次項に記載。